

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		はじめの歩 須恵事業所				公表日	2025 年 3 月 31 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	2	1階や2階を分けて活動したり、戸外での活動を行っている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		9	0	国の人員基準以上の配置を満たしている。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	5	バリアフリーは十分ではないが、現状不都合はない。階段は職員が必ず付き添うように配慮している。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	0	毎日、室内およびトイレ等の掃除と消毒をして感染症に注意をしている。	全室を同時に使用する場合、別室での話し声や足音などが聞こえるので、互いに協力をして療育内容を工夫して活動するようにする。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	0	クールダウンが必要な場合は、別室にて対応が可能となっている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		9	0	前期、後期で話し合い振り返っている。また、必要な時にはその都度改善を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	0	評価表集計後、職員で保護者等の意向を共有し改善している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	0	職員会議や打ち合わせ会議などで自由に発言の機会があり、必要なところは改善している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		0	9		第三者委員会について職員周知を図る。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5	0	随時研修案内があり、必須または、希望者が研修を受けている。また、年数回は法人全体での研修が行われて全員参加となっている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9	0	年のカリキュラムは、相談室に掲示しており、月の目標、月の活動予定を前もって保護者にお便りで伝えている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		9	0	保護者面談の際に必要な情報を聞き取り、実際のこどもの様子に合わせて作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		9	0	担当職員の意見を聞きながら検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9	0	会議や記録で周知して、支援方法の統一を図っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		9	0	共通したアセスメントシートの他にJSI-miniの検査用紙を使い生育歴を含むこどもの状況や感覚調整障害の可能性を探っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8	1	本人支援には5領域に対して明確に目標を設定しており、家族支援、以降支援、地域支援・地域連携支援に関しては、個々の状況に合わせて対応できるように設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		9	0	担当者が立案し、支援にかかわる職員を含めて検討し実施している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	曜日ごとの主担当を固定化せずに行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	必要なこどもには計画通り個別の支援を行っている。また、集団活動の中で適時個別対応ができるように配慮をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	主担当に流れを聞いたのち、自信の動きに疑問が残る人は質問を行う時間を作っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	記録をしながら振り返り、こども達の様子や課題、次回に気を付けることなどを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		療育に対して子どもがどのような行動をしたか、できたことできなかったことなどポイントを押さえて記録する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に1度モニタリングを行い、担当者で確認している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	活動内容が偏らないように、ガイドラインを確認して支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	「しなさい」といった限定的な言葉を使わないようにして、促す言葉遣いを心掛けている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	管理者または児童発達管理責任者、療育担当者のいずれかが出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	地域の病院や町役場担当者と連携体制をとっている。保護者から依頼があれば病院へ文書での情報提供も行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	保護者の方からLINE等にて情報を頂いている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	同事業所の児童発達支援や、法人園にて情報共有を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	まだ卒業した人がいないが、該当する場合は行っていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	自立支援協議会等で行われる事例検討や研修会でアドバイスを受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		交流の機会を増やすためのイベント等を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	郡や町主催の協議会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	必要な際にLINEで報告したり、保護者から連絡をいただいている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		ペアレントトレーニング等保護者からの希望があれば、検討する。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に個々に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	保護者のご意見や希望を踏まえてこどもに合わせた計画を作成し、実施している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	面談で行っているが、面談を希望されない保護者にはアンケートをとってご希望などを伺った後、計画書を作成し同意を得るようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	随時、面談や電話等で管理者または児童発達支援管理責任者が対応を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	3		保護者会等のご要望があれば検討する。親子イベントで保護者同士が交流できるようにしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情受付担当者を配置し、速やかに対応出来る体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	管理者に報告をし、相談の日時を決めて対応している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人ファイル等の保管は施錠をして管理できるようにしている。机上の個人情報は伏せておくように留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	視覚支援を行うようにしているが、現在、保護者に対象者はいない。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		夏祭り等で法人内の就労支援での作品を販売しており、近隣の一般の人が購入される場合は受け入れている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	職員には対応の仕方の周知を徹底している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	こどもに合わせた紙芝居や絵カードを使用して、定期的に火災、地震、不審者に対しての避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	聞き取りだけでなく、所定の用紙に記入して提出してもらって確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	病院での検査結果等がある場合は、提出していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	必要な研修を受けて支援に繋げている。	非常勤職員、新規職員にも周知徹底できるようにしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	契約時に個々に説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	報告書の作成後、職員間で再発防止策を検討し共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的に研修を受けており、事例での検討を行って学習している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	強度行動障害の対象児がいないが、すべての保護者に対して、自然災害などの危険が想定された場合には、抱きしめて行動を抑制する等の説明をして事前許可をとっている。		